

令和元年6月19日 北部地区研究会

会場	川崎市立百合丘小学校
参加人数	24人

内容

① 地区研修計画

② 講師「クラフテリオ」さんによる紙粘土講習

今回は、わざわざ大阪からクラフテリオのスタッフの方が来てくださり、Kクレイ紙粘土の魅力について実践も交えて教えていただきました。材料の提供も富士教材さんにお手伝い頂きました。

Kクレイを扱う注意点として、「袋をすべて開けて紙粘土を練る」ことをお話いただきました。手触りもベタベタせず、机にもひっつきにくい素材であることから、伸ばしたり畳んだりを繰り返してよく感触を味わうことをおすすめされました。



準備が終わったら、30秒以内で誰が一番きれいな球状にできるか競争しました。表面をきれいな球にするためには、転がしたり、ならしたり、たたいたりするなどのコツを楽しみながら見つけることができました。しわを指の腹で伸ばすことで、継ぎ目ができないようにするコツも聞きました。

Kクレイのもう一つの特徴として、絵の具の色を混ぜやすいというのがあります。ハンバーグの形にした粘土の真ん中にくぼみを作り、その中に絵の具を「小指の爪くらい」の量を入れます。紙粘土は、1度に絵の具を吸収できる量が決まっているようで、多すぎると手についてしまうし、少なすぎると紙粘土の白の色が強くて薄すぎてしまいます。パステルカラーも美しいですが、色を濃くしたいときには、色が混ざってから絵の具を足していくとよいことも教えていただきました。捏ねるのを少しにすると、きれいなマーブル模様もつくれました。つくったカラー粘土はグループの皆さんと交換しました。教室で行うときにも、友達と交換できると時間のかかるカラー粘土づくりも時間短縮できるかもしれません。その後は、カラー粘土を使用して、心材に張り付けてペン立てをデザインしていきました。受講者の皆さんの顔つきは真剣そのもので、時間を忘れるぐらい熱中していました。

皆さんのKクレイ作品



紙粘土はすぐに硬くなってしまいますが、硬くなった時には、霧吹きで手を湿らせてから行うとよいことや保存の時には、付属で入っているジップロックを使うとよいことも教えていただきました。